

コラボ通信

 第42号
2015年2月17日

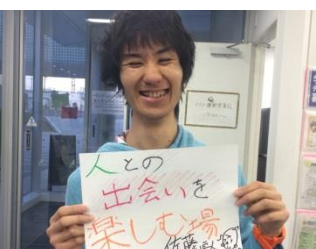
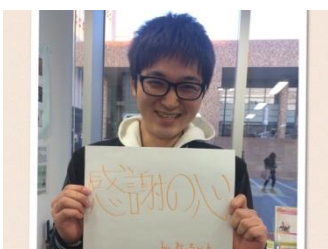
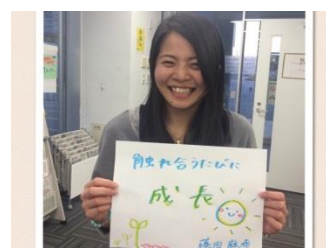
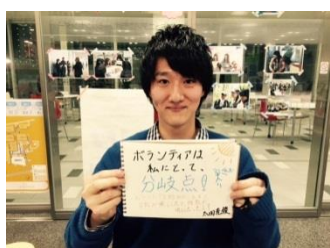
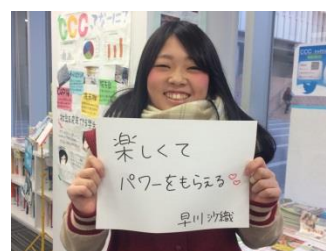
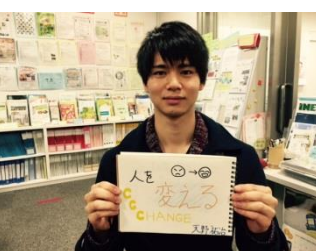
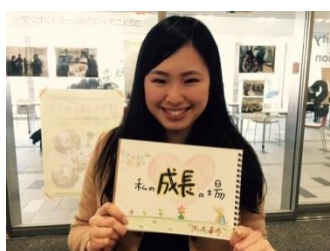
コミュニティ・コラボレーションセンター（CCC）は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた想いを受け継ぎ、「地域に根ざし、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行っています。「文化」「世代」「地域」「社会」「環境」を舞台に、学生が地域の様々な人と幅広い活動に励み、自己を成長させる生きた学びが得られるようにサポートしています。



あなたにとって ボランティアとは？



CCCを通して活動をしている学生さんに「あなたにとってボランティアとは？」とインタビューをしました！自分の成長のため、新しい出会いの発見、社会・世界が抱える問題を知ること、助け合いなど・・・「あなたにとってボランティアとは？」と尋ねれば、十人十色の答えが返ってきます。それぞれの学生さんにとってボランティアとはどのようなものなのでしょう！？16人16色の「ボランティア」をご紹介します！



「私にとってのボランティア」のカタチは様々でも、つながりを大切にしながら、自分や周りの人がより暮らしやすく、笑顔になりますようにという想いの部分はみなさん一緒です。なんだかおもしろそう！楽しそう！と思ったら、ぜひ一度CCCに足を運んでみてください♪新しい世界が待っています！(^^)！

環境



地域に飛び出す学生紹介 vol.1



- 名 前：高木 孝生さん
- 学 部：ビジネス学部
- 学 年：3年
- ボランティア名：損保ジャパン CSO ラーニング制度
(活動先：地域の未来・支援センター)
- 活動内容：・ NPO の中間支援組織として、NPO 主催のイベントに参加
・ 「豊森なりわい塾」への参加
・ 愛知地区定例会及び全国合宿への参加

◆活動に参加したきっかけ◆

元々、ゴミ問題に関心を持っていたところ、そのような活動に携わっている先輩の体験談を聞く機会があり、心を動かされました。ちょうど、何か新しいことを始めてみたいと考えていたので、思い切って、自分も行動してみようと決心しました。

◆活動に参加して感じたこと・学んだこと◆

学び得たことは数多くあり、すべてを挙げるのは難しいのですが、環境問題の現状に触れ、多くの NPO で環境問題に真剣に取り組んでいる方々の活動を間近で見ることができた点が強く印象に残っています。活動に参加する前は、環境問題について深く考える機会がそれほどなかったのですが、一人一人が考えていかなければならない問題として捉えるようになりました。将来も何らかの形で関わっていきたいと思っています。

また、環境問題に関する学び以外にも多くのものを得ました。例えば、NPO に関わっている方、企業の方、学生など、年齢や職業も異なる多くの方々との出会いです。出会った方々から様々な分野の話を聞くことで、視野が広がったように感じています。

◆ボランティア活動を通して、自分がどのように変わったか◆

まず、CCC に出会い、人生が変わりました。CCC で学んだ「人と出会い、繋がることの大切さ」は僕の財産です。これを手に、今年度は興味のあることに挑戦しました。チャレンジファンドにおける活動団体の立ち上げ、ヒッチハイクの旅等々。積極的にボランティア活動をすることで、多くの方々と出会えます。そして、出会いが僕自身を変えてくれました。



<NPO 主催のイベントに参加>



<損保ジャパン CSO ラーニング制度
全国合宿>

◆これからの目標！◆

「自分に関わってくれる人を大切に、挑戦し続ける！」

◆あなたにとってボランティアとは??◆

「多くの人と出会うことができ、出会いの大切さを学ぶことができる」



国際



地域に飛び出す学生紹介 vol.2



名 前：細野 優さん
 学 部：交流文化学部
 学 年：2年
 ボランティア名：JICA 中部ボランティア地球案内人
 活動内容：名古屋のささしまライブにある JICA 中部 1 階の
 なごや地球ひろばにて、展示内容の案内や説明、
 イベント運営などの手伝い、展示入れ替えなど
 が主な活動です。

◆活動に参加したきっかけ◆

大学に入学して、まず「何かやりたい！」という気持ちで CCG に立ち寄ったところ、学生スタッフの先輩に勧められたボランティアがこの JICA 中部ボランティア地球案内人でした。もともと国際協力に興味があったので、ボランティアとしてお手伝いしながら国際協力の勉強ができるなんて！と、魅力を感じました。

◆活動に参加して感じたこと・学んだこと◆

私たちの主な業務は、展示内容の案内・説明や入れ替えなので、自ら活動しながら、様々なテーマの国際問題や国際協力について学ぶことができます。私が特に好きな展示形式は体験型のものです。例えば、日本語や英語ではない言語（アラビア語など）で書かれた薬や商品を探すことで、「文字が読めないと、どのくらい不便なのか」を体験できるようになっています。開発途上国の教育問題についてはよく耳にしますが、遠い国の話と聞き流すのではなく、「文字が読めないことで生じる生活上の支障」を体感することで、教育の大切さをより理解できます。国際協力についても、どのように伝えれば相手に理解してもらえるかという点に配慮することの重要性を学びました。

◆ボランティア活動を通して、自分がどのように変わったか◆

この活動は、青年海外協力隊の元隊員さんと一緒にさせていただくのですが、いろいろな活動のお話を聞いているうちに、「もっと自分の目でいろんな国を見てみたい！」と思うようになり、春休みに3週間、東南アジアにバックパッカーの旅に出かけました。以前は、「やってみたい」と思っても行動に移せずに終わっていたのですが、主体的に行動するようになりました。タイ北部の町で、同様に一人旅をしていた地球案内人のボランティアの方にばったり出会ったのもいい思い出です。

◆これからの目標！◆「これからも、とりあえず挑戦！」

私は今、興味のあることに何でも挑戦しているのですが、挑戦してみて初めて「あ、これは私に向いていないかもしれない」とか「意外とこの分野が好きなんだ！」と感ずることが多々あります。自分の好きなことを見つけるために、これからもいろんなことに挑戦していきたいです。

◆あなたにとってボランティアとは??◆

「さまざまな自分を見つけられる場所です！」



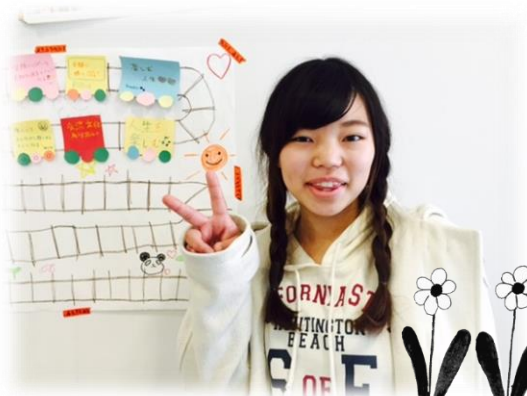
＜インドネシアからの研修生と一緒に＞

ABC

企業



地域に飛び出す学生紹介 vol.3



- 名 前：森野 詩穂さん
- 学 部：ビジネス学部
- 学 年：1年
- ボランティア名：デンソーグループハートフルまつり
- 活動内容：「ローゼルを育てる会」のブースのお手伝い
(ローゼルを知り、興味を持ってもらうため、
ローゼル苗の販売サポート・ローゼルのキャラクター投票の案内に携わりました。)

* ローゼルとは… 亜熱帯地方の原産のハーブの一種で、ジャムやハイビスカスティーの原料にもなる。

◆活動に参加したきっかけ◆

大学では積極的にボランティア活動をしてみたいと思い、CCCに行ってみたところ、沢山のボランティアを紹介してもらいました。そのなかで特に惹かれたボランティアが「デンソーグループハートフルまつり」でした。企業の方々と直接かかわることができると思い、参加することにしました。

◆活動に参加して感じたこと・学んだこと◆

私の中にあったボランティアのイメージが、実際に参加したことで、大きく変化しました。参加する前は「大変そう」と思っていました。しかし、実際に参加してみたところ、とても楽しくて、活動前のイメージは吹き飛んでしまいました。

私が参加した「デンソーグループハートフルまつり」は、地域の方々との繋がりを大切にするを目的としたイベントで、地域の方々、デンソー社員さん、ボランティアの方など、すべての参加者が楽しめるような内容になっていました。企業が経済活動だけではなく、地域や社会に貢献する活動にも積極的に取り組んでいることを知りました。

◆ボランティア活動を通して、自分がどのように変わったか◆

「デンソーグループハートフルまつり」では、耳が不自由な方と話したり、障がい体験するなどのブースがあり、日常では関わることの少ない方々との出会いがたくさんありました。初対面の方と出会い、会話することで、今まで知らなかったことを学べます。そのような出会いを積み重ねていくうちに、少しずつ成長している自分に気づきました。以前は、新たな出会いに対して不安を感じていましたが、自分の成長に繋がることに気づいた今は、それが楽しみの一つになっています。

◆これからの目標！◆「学び、実行する！」

今まで、多くのボランティアに参加し、様々な経験をしました。そのなかで感じたこと、学んだことをまだ行動に移せていないと思います。これからは学ぶ姿勢だけでなく学んだことを実行できるように意識しようと思います！



<企業のボランティアスタッフさんと>

◆あなたにとってボランティアとは??◆

「経験と成長」



子ども



地域に飛び出す学生紹介 vol.4



名前：杉山 舞さん

学部：メディアプロデュース学部

学年：3年

ボランティア名：風の自然学校 キャンプカウンセラー

活動内容：自然の中で思いっきり遊び、物を作り、食べ、生活し、昆虫や動植物たちとの関わりを感じながら自然を学びます。「褒めない、叱らない、認める」、「気持ちに寄り添う」ということを大事にして子ども達のやりたいことをサポートし、一緒に楽しみます。

◆活動に参加したきっかけ◆

これまで社会人と関わる活動に多く携わっていましたが、少し目線を変えて、心も体も解放できるキャンプや無邪気な子どもたちと関わる活動に参加したいと思うようになりました。



◆活動に参加して感じたこと・学んだこと◆

フリーキャンプとは単に、子どもたちが自由気ままに好きなことをして遊び、「ああ、楽しかった！」で終わるものではないということを学びました。遊びの中に学びがあるのではなく、遊び自体が学びなのです。自然の中には、人が生きていくうえで大切なことが全て詰まっています。一見すると何も無い山や川、海、はたまたアクシデントが起きるかもしれない環境下で、初めて会った仲間や大人達と何をするのか。それらを想像し実現していく子ども達には、自分自身で考える力や、生き抜く力が身に付くでしょう。

◆ボランティア活動を通じて、自分がどのように変わったか◆

思っていることを素直に言えたり、初対面で意気投合する子ども達の姿を見て、私が日頃感じていた息苦しさは、私自身が勝手に作り上げていたものだ気づきました。私自身が自然体で、幸せな気持ちで過ごしていればいいのです。それを自然の中で、子どもたちから教えてもらいました。子どもたちのように、日々、幸せを感じることを大事にするようになってから、私自身のことがより一層、好きになりました。

◆これからの目標！◆

メディアと教育を融合した分野で貢献したいです。最近、「やりたいことがわからない」という人が多いように感じます。その原因は、やりたいことを見つけるに至るまでの「体験」をしていないからです。では、その体験不足に原因があるとしたら？ その原因は、単純に、彼らが情報に触れていないことと、メディアにより「これは○で、あれは×」という形でステレオタイプ思考が刷り込まれており、当事者の選択や挑戦の幅が狭められているためだと考えられます。

私は、新たなメディアの在り方を考え、それを通して、何か一つでも情熱を持って生きる人が増える社会にしていきたいです。

◆あなたにとってボランティアとは？◆

知らない世界に飛び込むと、知らない自分に出会える！面倒だな、行っても何も変わらないよねーなんて思っている人ほど、新しい自分との出会いがあるはず。ボランティア先の誰かの状況を変えることができなくても、その誰かのために動いた自分自身は絶対に変わっていると思います。



地域



地域に飛び出す学生紹介 vol.5



名前：水飼 由香莉さん

学部：心理学部

学年：2年

ボランティア名：児童館などでのボランティア

活動内容：児童館のイベント（七夕祭り・クリスマス会）のお手伝い、児童館主催の遠足（バスハイク）の引率、NPO 団体主催の子ども向けイベント（英語を使ったハロウィンイベント）のサポート

◆活動に参加したきっかけ◆

子どもが大好きで子どもの相手をするのが得意だったので、それを生かし、なおかつ自分も楽しみながらできるボランティアがしたいと思っていたからです。

◆活動に参加して感じたこと・学んだこと◆

ボランティアは、人に言われたことだけをただこなすものではなく、常に「今、自分が何をすべきか」を考えながら行動するものだということ、そのためには自主性や積極性が必要だということを学びました。また、ボランティアに参加することで、自分に不足している点や新たな一面に気づくことが多く、自分の成長につながると感じました。

◆ボランティアを通して、自分がどのように変わったか◆

ボランティアを通じてたくさんの人との出会いがあり、色々な考え方やそれぞれの思いに触れることで自分の世界が広がりました。また、国際関係のボランティアに参加したことをきっかけに、国際交流について考えるようになりましたし、国内の社会問題や身近な問題についても、今までは目を向けるだけでしたが、ボランティアを経験したことで、その問題に対して自分は何ができるかを考えるようになりました。



<市が洞の夏祭り>

◆これからの目標！◆

もっとたくさんの経験をして色々な考えを持った人たちと出会い、多くの刺激を受けたいです！今、興味があり、取り組みたい問題があるので、それについて何ができるかを具体的に考えて、行動に移していきたいと思います！

◆あなたにとってボランティアとは？◆

たくさんの出会いがあり、たくさんの人たちとつながることができるもの。自分と同じ思いを持った仲間や、異なる考えを持った人たちと互いに刺激しあいながら成長していく場所。



<リニモでハロウィン>

福祉



地域に飛び出す学生紹介 vol.6



名 前：古川 亮さん

学 部：心理学部

学 年：1年

ボランティア名：極楽苑～高齢者の外出支援サポート～

活動内容：名東区のデイサービスセンター高針福祉会
極楽苑にて、利用者の方々とのお話。
近所のスーパーで買い物の付添。

◆活動に参加したきっかけ◆

活動先が家から近く、スケジュール面でも都合が良かったからです。

◆活動に参加して感じたこと・学んだこと◆

元々、車椅子について、その扱い方や移動時の声掛けの大切さを本などで学んでいたの、実際に生かすことができ、よかったです。また、受講している「障がい者支援ボランティア入門」の知識も役に立ったので、知っていれば誰かの手助けができるということに気づきました。だから、知識を得ておくことが重要だと、改めて感じました。



<極楽苑の様子>

◆ボランティア活動を通じて、自分がどのように変わったか◆

以前の僕なら、驚いてしまっていたであろう病氣や障がいの人に出会っても、全く気にならなくなり、「違いがある」ことを当たり前だと思うようになりました。僕自身の世界や視野が少し広がったと感じられるようにもなりました。

◆これからの目標！◆

考え方や価値観が異なる様々な人との出会いを通じて、そこから、また新たな出会いにつなげ、今まで知らなかったことを見聞きしていきたいです。

◆あなたにとってボランティアとは??◆

ボランティア活動がすべてうまくいくとは限りません。楽しいこともあれば、悲しいこともあれば、面白くないと感じることだってあります。得意なことを発見する一方で、苦手なことにも気づき、無理だと思うこともあります。生まれて20年経った今でも、発見することはたくさんあり、僕はそれがとても楽しいです。だから、今の僕にとって、ボランティア活動は、僕自身を振り返るチャンスだと思います。あと、僕は、家でゲームをすることが好きで、それに夢中になってしまうことが多いので、ボランティア活動は、外に出るいいきっかけになっています。



卒業する学生スタッフより



4年間を振り返ると、私にとって CCC とボランティアは「新しい世界を見せてくれる扉」だと思います！自分がどんなことに興味があり、どんなことに感動し、どんなことに心を痛め、そしてどんな方法で社会や世界の抱える問題を解決したいと思うのか、ボランティアを通して「身を持って体験すること」で自分らしさを発見し続けた時間だったと思います。CCC がなかったら、ボランティアをしていなかったら、知ることのできなかった活動や出会えなかった人、生まれなかったつながりが確かにあって、大学に入る前までにいた世界と、今の自分が生きている世界、見える世界には大きな違いがあると思います。社会には真剣でカッコイイ大人がたくさんいます！そしてそんな世界はキラキラ輝いて見えます！CCC やボランティアがあったからこそ見えた世界や出会えた人、新しい自分は、これからの人生でかけがえのない財産になるだろうと思います。生きてきた22年間、そして CCC と出会ってから4年間を振り返ってみると、自分のしてきた一点一点の体験が、つながって線になったような気がします。CCC とボランティアを通して知ったわくわく感、刺激的な時間、湧き出る想い、これをいつまでも忘れずに、社会に出てからも自分らしく輝ける私で在り続けたいです！



文学部 英文学科4年 北垣 かなえ

CCC と出会って、私の世界は大きく変わりました。ボランティア活動を通して、幅広い年代の人、多様な価値観を持つ人と出会い、自分の世界がぐーんと広がりました。いろいろな世界を知ること、多くの人と出会うことは私の人生を豊かにしてくれました。大学生活の中で CCC に出会ったことに心から感謝しています。ボランティアっていろいろな捉え方があると思うのですが、私はボランティアは「日常を非日常に変えてくれる素敵な魔法」だと思っています。“誰かのために何かをする”とイメージする人も多いかもしれませんが、ボランティアってそれだけじゃないんです。いろいろな人と出会うこと、自分が知らないことを学ぶこと、みんなと一緒に同じ時間を共有すること、一緒に活動して笑うこと。ボランティアにはいろいろな形があるんです。それに CCC ではホンマモンに出会えて、自分のよいところを見つけるきっかけをくれます。本当にキラキラしたカッコいい地域のホンマモンに出会うことができます。そして、「自分ってどんな人間なんだろう」ということを考えるきっかけをくれます。なんとなく過ぎてしまう毎日をカラフルな世界に変えてくれるひとつの方法がボランティアだと思います！CCC を通して出会った人たちとのつながりは私の宝物です。これからもこのつながりを大切に、地域の一員として「私にできること」にひとつずつ取り組んでいきたいと思います！



交流文化学部4年 瀧 亜紗美

コラボ通信第42号

発行：愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター

発行日：2015年2月17日

編集：CCC学生スタッフ

	長久手キャンパス	星が丘キャンパス
利用時間	平日 9:00~18:30 (授業日以外 9:00~17:00)	
場所	11号棟1階	5号館1階
連絡先	0561-62-4111(代)	052-781-1151(代)
E-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	